

数字は議題の ANNEXE の番号

3 1 B 着地後の風速

現状では、着地前の 30 秒に関して、規定風速を超えた場合にリフライトが認められているが、風速計の位置や場合によっては着地後に突風が入ったりしてフォールとなることが実際に起きているので、そのリスクを是正するために着地後の 5 秒以内に規定風速を超えた場合にもリフライトを認める案は承認された。適応は、2026 年 5 月 1 日以降のカテ 1 およびカテ 2。

3 1 C 靴底の細工に関して

現状では底からの突出長さは 8 mm であるが、最近のパッドの破損頻度を考慮して 6 mm に変更する提案は承認された。適応は、2026 年 5 月 1 日以降のカテ 1 およびカテ 2。

3 1 D マスタークラスに関して

現状ではカテ 2 大会ではマスタークラスを表彰することは許されているが、これをカテ 1 大会でも許されるようにする提案は承認された。適応は、2027 年 1 月 1 日以降に開催される大会から。

3 4 A 大会期間について

現状では大会期間の最大日数は 14 日に制限されているがこれを 10 日に短縮する提案は承認された。適応は、2026 年 5 月 1 日以降のカテ 1 およびカテ 2 大会であるが既に期日の決定している大会を考慮して 2029 年 1 月 1 日以降に開催される大会から。

4 1 CRO1 ノックアウトシステムに関してやめる提案は承認された。

適応は、2026 年 5 月 1 日以降開催される大会から。

4 1 SLO2 ジャッジの経験値を緩める提案は承認された。適応は 2026 年 5 月 1 日から。

4 1 SLO3 S7C に出てくる地面の明確化

1. 1. 4. 3に「フォールとは、パイロットの身体の一部（足を除く）または装備品（スピードシステム、ストラップ、牽引ヨークを除く）が、翼が地面に接触する前、または競技者がターゲットの中心から 10m 離れる前に地面に接触した場合を指します。」の後に「地面とは、地球の固い表面のことです。木、風向計、風速計などの障害物は地面ではありません。パイロットが障害物に接触しても飛行を継続すれば、フォールのペナルティを受けることなくターゲットへ向かって飛行を続けることができます。」を追加する。適応は2026年5月1日以降。

4.1 SLO4 テイクオフ順

現況では、チームリーダーはチームメンバーのフライト順を決めているが、これをチームメンバーを含む自国の選手全員（つまり、個人参加の選手も含めて）のフライト順を決めると変更する。2026年5月1日以降適応。